

# 第1回 神戸市立鶴越斎場建替事業者選定委員会 議事要旨

日時：令和5年10月3日（火）10時00分～12時00分

場所：神戸市役所1号館 24階 1243会議室

議時：1. 実施方針（案）について

2. 要求水準書（素案）について

## 1. 実施方針(案)についての主な委員コメント

- ・ 事業スケジュールにおける鶴越斎場の設計・建設期間に、現施設の解体・撤去等についても明記しておけば、確実に解体・撤去等まで含んだ提案が為されるのではないか。
- ・ 入札参加者の参加資格要件において、法人税、消費税、法人事業税、法人市民税の滞納に加え、法人県民税は対象としなくてもよいか。

## 2. 要求水準書(素案)についての主な委員コメント

- ・ 自然豊かな場所で景観計画区域でもあり、建物と周辺のランドスケープが一致していると、利用者の精神的な安定や、見栄え、周辺との関係があり、審査の視点に加えるべきである。
- ・ 燃料等備蓄、災害時の対応について、10日分の燃料貯蔵は膨大な量であり、どこに貯蔵するのかが見えていない。曖昧にすると不公平になるため、このあたりの条件はきちんと決定しておくほうがよい。
- ・ 施設要件について、主構造は原則鉄筋コンクリート造としつつ、「部分的に提案も可とする」記載は意味が少しわかりにくいため、表現を再考すること。
- ・ 建築施設整備要件における「省エネルギーの推進」について、市の環境政策等の新しい概念や用語使いなどを踏まえた表現とすべきである。
- ・ 昔と異なり会葬者の事情も非常に変化してきており、近年における葬儀の多様化にも柔軟に対応できる施設の整備・運営を行っていく必要がある。
- ・ 建築期間と並行して行われる会葬の同時性のある部分への計画的な配慮も必要である。工事のローリング建替計画に関する記載はされているが、本施設の利用者のための計画の記載はされていない。工事期間は長期に及ぶため、その間の会葬者への配慮は重要である。要求水準として明記した上で、事業者の提案内容を委員会で議論し、評価ができればよい。
- ・ 残骨灰、集じん灰等の管理及び処理業務については、現施設の運用等を踏まえて、きちんと記載をしていくこと。

## 用語解説

- ・ ランドスケープ  
景観や風景のこと
- ・ ローリング建替  
限られた敷地の中で、現施設を使いながらその場で建替えを行うこと
- ・ 残骨灰  
火葬によって生じた焼骨等のうち、遺族が収骨した後に残る焼骨等のこと
- ・ 集じん灰  
火葬に伴い集じん装置で除去された灰のこと